

中根在独大使による ANUGA 訪問について

10月8日、中根猛・在独大使がケルン・メッセを訪問し、ANUGA（世界食品見本市）を視察しました（当館千葉領事、植田ジェトロ・デュッセルドルフ事務所長他が同行）。

ANUGAは2年に一度開催されている世界最大の食品メッセで、世界中から6000を越える企業が出展し、来場する約15万人の食品関連業者との商談の場となっています。

日本からも、農林水産省・ジェトロが設置したJAPAN PAVILIONを中心に多くの企業が出展し、オープンキッチンで食材や調理を実演するなどアピールしています。中根大使一行は出展企業の皆様の激励も兼ねてブースを回り、顧客の反応や今後の課題などについて情報交換を行いました。

日本政府としても「日本再興戦略」の一環として日本食やその文化の普及啓蒙を推進しておりますが、出展企業及び関係機関各位の尽力により、今回のメッセはその絶好の機会の一つとなりました。



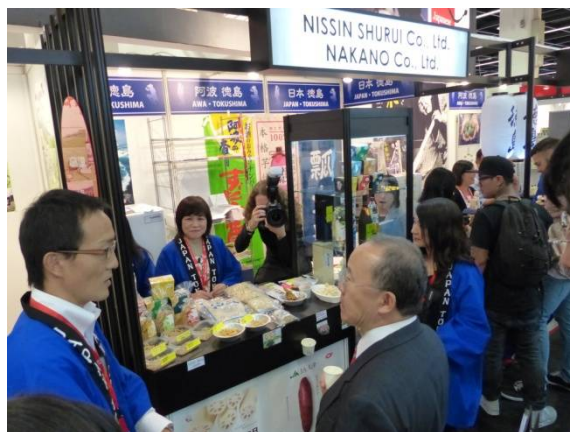
Eiden ケルンメッセ副社長と中根大使（右）



メッセ動向・出展状況について意見交換



オープンキッチンでの実演（国産和牛など）



徳島県ブース（柚子、梨などを組合せ展示）



日本米・お茶漬けの展示



鮮やかな緑色の日本茶ブース